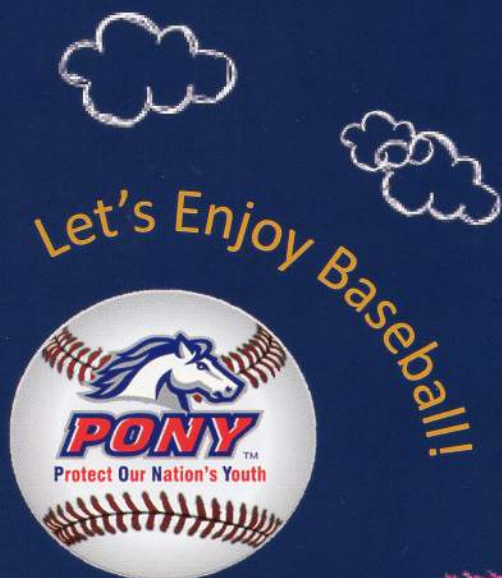


ようこそ！ ポニーベースボールへ！

Welcome to PONY Baseball&Softball!

～野球を通じて 社会に貢献する人材
世界へ羽ばたく人材を育てるPONY～



JAPAN PONY BASEBALL ASSOCIATION
一般社団法人 日本ポニーベースボール協会



Protect Our Nation's Youth



Protect Our Nation's Youth

国の宝である青少年の成長を守る

ごあいさつ

スポーツは、言葉が通じなくても一緒に盛り上がったり悲しんだり、感情を共有できるものです。そこには人種も男女も年齢も経済的格差も関係ありません。スポーツを体験することで身体と精神ともに健康を保ち、多くを学び、そして応援するだけで一体感が生まれます。

ポニーリーグは、その歴史と経験のなかで、野球を通じて青少年の成長を見守りながら、野球というスポーツで世界とつながり、それぞれの価値観を育み未来を創るという

【Protect Our Nation's Youth】

(国家の宝である青少年の成長を見守る)を理念として活動しています。

ポニーリーグに在籍する全ての少年・少女達が安全かつ安心して野球というスポーツを楽しみつつ、故障やケガを予防し将来の大きな飛躍につながる環境を整えるため

- ・「SUPER PONY ACTION」(無限の可能性の探求と障害予防)の制定
- ・全ての指導者に対して「指導理念10ヶ条」と「Super PONY Philosophy」(ポニーの哲学)の周知と理解の徹底を図っています。

私たちポニーリーグは、これらの趣旨に賛同していただいている協賛各社の皆さま、チームスタッフ、保護者の方々、そして選手諸君という、多くのステークホルダーが協力し合って成り立っています。

全ての選手達が野球を通じて、社会に貢献する、グローバルな人材に成長する一助となるべく、私たちポニーリーグとともに歩を進めていただけたら幸いです。

一般社団法人 日本ポニーベースボール協会 本部事務局

もくじ

1. ポニーリーグについて.....	5
PONYとは	
世界地域別大会	
アジア太平洋地域におけるPONY	
2. 日本におけるポニーリーグ.....	7
日本での誕生	
一般社団法人日本ポニーベースボール協会について	
日本のポニーファミリー（地域加盟チーム名一覧）	
3. ポニーの強み.....	9
その①グローバルで子供本位の育成	
その②日本独自のアクションプランで青少年を守る！	
ポニーリーグにおける「機会均等」の実践例	
4. ポニーリーグの主な取組.....	13
SUPER PONY ACTION	
機会均等を実現するSUPER PONY ACTION II	
5. ポニーリーグの指導理念.....	15
SUPER PONY PHILOSOPHY	
指導理念10か条	
日本におけるポニーリーグの管理監督体制（組織図）	
6. ポニーリーグの代表的な大会.....	18
ワールドシリーズ	
アジアパシフィックゾーンチャンピオンシップトーナメント	
全日本選手権大会	
日米親善試合	
女子野球大会を開始	
7. ポニーリーグの年間スケジュール早見表.....	23
2023年度の主な年間大会スケジュール	
8. 加盟手続きについて.....	24
加盟時に必要な費用	
9. ポニーリーグのスポンサー.....	25
パートナーシップ体制	
日本におけるポニーリーグのスポンサー各社	
10. ポニーリーグの連絡先.....	27

ポニーリーグについて

PONYとは

Protect Our Nation's Youthの略で、
「我々の国家の宝である青少年の成長を見守ろう」
を理念として世界中に普及しています。

PONYは現在世界50か国に50万人の選手を有しています。現役MLB選手の約50%はPONY出身者です。世界に組織を有するポニーリーグは、毎年米国でPONY ワールドシリーズが開催され全米に生中継されています。

このPONYワールドシリーズの予選となるアジア太平洋地域選手権大会には日本も毎年参加しています。2013年には、10ヶ国で争われたこの予選を勝ち抜き、ワールドシリーズでも快進撃を続け、見事世界一に輝きました。今でも野球殿堂博物館に当時の優勝トロフィーやユニフォームが展示されています。

このような国際的な活動はアメリカ合衆国の歴代大統領からも評価されており、レーガン大統領からホワイトハウスへ招待を受けたのをかわきりに、その後も歴代大統領からホワイトハウスへの招待状を拝受しました。

《世界地域別大会》

PONYは、

- ・ 米国(West Zone, East Zone, North Zone, South Zone)の4地域
- ・ アジア太平洋地域(Asia Pacific Zone)
- ・ カリビアン地域(Caribbean Zone)
- ・ メキシコ地域 (Mexico Zone)
- ・ ヨーロッパ地域(European Zone)

の8つの地域に分けて組織運営されています。

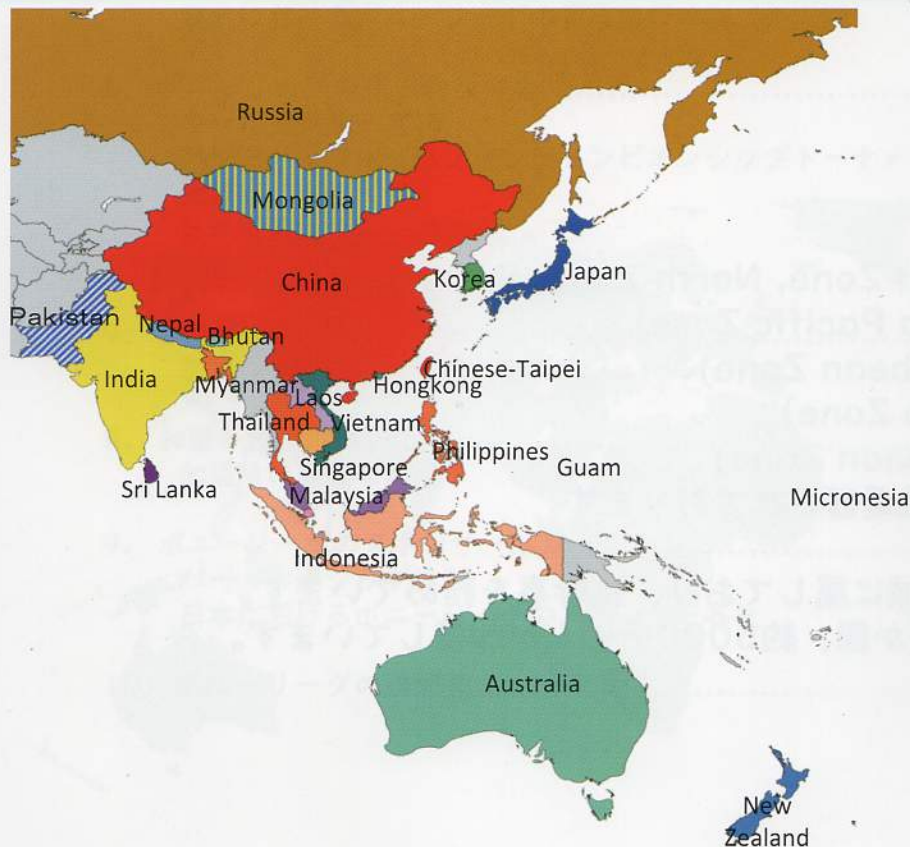
日本は、アジア太平洋地域に属しており、主幹事を務めています。
アジア太平洋地域には27か国、約5000チームが加盟しています。

アジアにおけるポニーリーグ

《アジア太平洋地域におけるPONY》

PONY Asia-Pacific Zone ポニー アジアパシフィック野球・ソフトボール振興協会 【理事長】 那須 勇元 Takeharu NASU				
PONY Asia Pacific Zone 45,000人		WBF Asia Pacific Zone 15,000人	SOFTBALL Asia Pacific Zone 37,000人	パラボール JAPAN Para Baseball 3,000人
国内 一般社団法人 日本ポニーベースボール協会		公益社団法人 少年軟式野球国際交流協会 (IBA-Boys)		障がい者野球大会 (会員：100チーム)
アジア太平洋地域		Australia China Chinese-Taipei Indonesia Korea Philippines Singapore Thailand USA		Japan
Australia Bhutan China Chinese-Taipei Guam Hong Kong India Indonesia Japan Korea Malaysia Micronesia Mongolia Myanmar Nepal New Zealand Pakistan Philippines Russia Singapore Sri Lanka Thailand Vietnam				

2022年現在の加盟国：27か国 約5000チーム



AUSTRALIA / オーストラリア
 BHUTAN / ブータン
 CAMBODIA / カンボジア
 CHINESE TAIPEI / 台湾
 CHINA / 中国
 GUAM / グアム
 HONG KONG / 香港
 INDIA / インド
 INODONESIA / インドネシア
 JAPAN / 日本
 KOREA / 韓国
 LAOS / ラオス
 MALAYSIA / マレーシア
 MICRONESIA / ミクロネシア
 MONGOL / モンゴル
 MYANMAR / ミャンマー
 NEPAL / ネパール
 NEW ZEALAND / ニュージーランド
 PAKISTAN / パキスタン
 PALAU / パラオ
 PHILIPPINES / フィリピン
 RUSSIA / ロシア
 SINGAPORE / シンガポール
 SRI LANKA / スリランカ
 THAILAND / タイ
 VIETNAM / ベトナム

日本におけるポニーリーグ

《日本での誕生》

1975年(昭和50年)5月5日の子供の日に発足。東京で日本ポニーリーグ協会として第1回の日本選手権大会を開催し、翌年には、ブロンコリーグ(U-12)も発足。発足の年の8月以降、来日と渡米が1年ごとに繰り返され、現在に至るまで40回を超える伝統を継続しています。

1978年(昭和53年)に現在の日本ポニーベースボール協会に改称、通称「ポニーリーグ」として活動が続け現在に至ります。



《一般社団法人 日本ポニーベースボール協会について》

《概要》

名称 : 一般社団法人 日本ポニーベースボール協会
 理事長 : 広澤 克実
 所在地 : 東京都江戸川区船堀4-8-19
 4階 (京葉鈴木グループビル4階)
 加盟・連盟 : 北海道・東北・関東・関西・九州・沖縄
 加盟・団体 : 198チーム
 登録選手数 : 2,854名
 ホームページ : <https://pony-japan.com>

《歴史》

1950年 米国ポニーベースボール協会 設立
 1975年 日本ポニーベースボール協会 設立
 1980年 アジア・パシフィックゾーン 設置
 2016年 PONYアジア・パシフィック野球・ソフトボール振興協会 設立
 2020年 少年軟式野球国際交流協会
 (“IBA-Boys”) の事業継承
 (活動125団体)

日本各地のポニーファミリー

地域連盟加盟チーム名一覧

(2022年12月7日現在)

九州連盟

- ・久留米三潞ポニー
- ・博多南ポニー
- ・久留米西ポニー
- ・西福岡ポニー
- ・久留米がーい'ポニー
- ・田川ポニー
- ・大牟田ポニー
- ・福岡東ポニー
- ・柳川ポニー
- ・大川ポニー
- ・黒木ポニー
- ・八女ポニー
- ・筑後ポニー
- ・佐賀南ポニー
- ・福岡小郡ポニー
- ・佐賀ポニー
- ・北九州ポニー
- ・福岡ポニー
- ・嘉麻ポニー
- ・西海ポニー
- ・諫早ポニー
- ・朝倉ポニー
- ・下関ポニー
- ・長崎ポニー
- ・宮崎ポニー

東北連盟

- ・岩手ポニー
- ・山形ポニー
- ・仙台ポニー
- ・福島ポニー
- ・栃木ポニー
- ・宇都宮ポニー
- ・鹿沼ポニー
- ・新潟ポニー
- ・みやぎ県南ポニー
- ・秋田ヤングポニー
- ・秋田NBAポニー
- ・秋田中央ポニー
- ・秋田B3ポニー
- ・いわきポニー
- ・酒田ハーフポニー

北海道連盟

- ・苫小牧中央ポニー
- ・北斗ポニー

関東連盟

東ブロック

- ・市川ポニー
- ・市原ポニー
- ・北千葉ポニー
- ・千葉ポニー
- ・松戸ポニー
- ・香取ポニー
- ・市川南ポニー
- ・とうかつ中央ポニー
- ・房州ポニー

南ブロック

- ・江戸川ポニー
- ・江東ポニー
- ・湘南ポニー
- ・墨田ポニー
- ・全葛飾ポニー
- ・羽田ポニー
- ・東東京ポニー
- ・横浜旭峰ポニー
- ・新東京ポニー
- ・茅ヶ崎BCポニー
- ・横浜港北ポニー
- ・秦野中井ポニー
- ・杉並中野ポニー
- ・横浜みなとみらいポニー
- ・神田Rebaseポニー
- ・東京インディペンデンスポニー
- ・城東ポニー

西ブロック

- ・清瀬ポニー
- ・小平ポニー
- ・さいたまポニー
- ・埼玉北ポニー
- ・立川ポニー
- ・三鷹ポニー
- ・飯能ポニー
- ・太田ポニー
- ・将門ポニー
- ・館林慶友ポニー
- ・つくばポニー
- ・群馬ポニー
- ・栃木南ポニー
- ・SKポニー
- ・つくば中央ポニー

関西連盟

- ・京都ポニー
- ・神戸ポニー
- ・愛知稲沢ポニー
- ・奈良ポニー
- ・兵庫ブルーサンダーズポニー
- ・堺ベースボールクラブポニー
- ・東広島ポニー
- ・BSOポニー
- ・紀州ポニー
- ・姫路ポニー
- ・滋賀ポニー
- ・愛知木曽川ポニー
- ・香川メディカルベースボールポニー
- ・高松LTSポニー
- ・名古屋ポニー
- ・福山ポニー
- ・京都中央ポニー
- ・倉敷ポニー

沖縄連盟

- ・宜野湾ポニー
- ・八重山ポニー
- ・沖縄ダイヤモンドポニー
- ・沖縄中央ポニー
- ・沖縄本部ポニー
- ・エナジックインターナショナルポニー
- ・沖縄ホーネッツポニー

女子リーグ

- ・兵庫ブルーサンダーズレディース
- ・福岡中央ポニー

ブロンコリーグ

- ・ポニー中央BRAVES

ポニーの強み その① グローバルで子供本位の育成



PONY Baseball and Softball International
CEO兼社長 アブラハム・キー

皆さん、はじめまして。私は今回この場をお借りして、ポニーリーグ発祥の歴史や意義についてお話しするとともに、全世界に広がるポニーファミリー、とりわけアジア地域での目覚ましい発展に、日本ポニーベースボール協会が重要な役割を果たしている点について述べてさせていただきます。

最初に米国のポニーリーグは、1950年にペンシルバニア州で誕生しました。

それまでは、少年野球を卒業した13～14歳を対象としたベースボールリーグでしたが「野球を通じて社会に有益な人材を育成する」との理念に基づき

9歳から23歳までを2歳間隔で分けたカテゴリーを新設しました。

翌年、わずか6チームでスタートしたリーグは、ロコミなどであっという間に広がり、1年間に周辺核都市で100を超えるリーグが誕生し、瞬く間に全米へと拡大していったのです。

ポニーのメリット①

～成長に見合ったリーグの設定～

ポニーリーグは発足当初から、年齢毎の育成プログラムを採用しています。成長期の年代は、できるだけ体格差によるハンディを避けて試合が行えるように配慮したからです。

カテゴリー名	対象年齢	生まれ基準（日本の学年に対し）
ソロブレッド Thoroughbred	23歳 22歳 21歳 20歳	
パロミノ Palomino	19歳 18歳 17歳	高校3年生 5月生まれ ～ 高校2年生 4月生まれ
コルト Colt	16歳 15歳	高校2年生 5月生まれ ～ 高校1年生 4月生まれ 高校1年生 5月生まれ ～ 中学3年生 4月生まれ
ポニー Pony	14歳 13歳	中学3年生 5月生まれ ～ 中学2年生 4月生まれ 中学2年生 5月生まれ ～ 中学1年生 4月生まれ
ブロンコ Bronco	12歳 11歳	中学1年生 5月生まれ ～ 小学6年生 4月生まれ 小学6年生 5月生まれ ～ 小学5年生 4月生まれ
マスタング Mustang	10歳 9歳	小学5年生 5月生まれ ～ 小学4年生 4月生まれ 小学4年生 5月生まれ ～ 小学3年生 4月生まれ
ピント Pinto	8歳 7歳	小学3年生 5月生まれ ～ 小学2年生 4月生まれ 小学2年生 5月生まれ ～ 小学1年生 4月生まれ
シェットランド Shetland	6歳 5歳	
フォール Foal	4歳 3歳	



ポニーの強み その① グローバルで子供本位の育成

毎年、ポニーリーグでは、加盟する50か国の頂点である「世界一」を決める世界選手権大会が全米で開催されています。この大会の出場予選となるアジア地区予選や、国際親善を目的に参加希望者を募る各種の親善大会など数多くの国際大会が開催され単に野球をやるだけでなく、様々な国の選手たちと交流する機会が選手達に提供され、親善と友好の精神を育む場となっています。

日本国内には1974年にカリフォルニア州ロサンゼルスで、当時フィールドディレクターだった故ミルトン・デュベイン氏が知人を通じて後に日本協会初代理事長となる故伊藤慎介へ伝えたことがきっかけで創設され、翌1975年5月5日のこどもの日に川崎球場で第一回日本選手権大会が開催され、その後ブロンコリーグの発足や日米親善大会が開催されるなど国内でも発展していきました。

ポニーのメリット②

～野球を通じて世界を感じられる～

毎年夏休みに開かれる世界選手権大会や、その予選であるアジア太平洋地区選手権大会。全国各地のリーグから選抜された日本代表チームが参加しますが、大きな目的は他国の選手たちと交流し、グローバルな視野を持ってもらうことに力点が置かれています。レセプションでは、各国の選手たちが自由な雰囲気の中で交流しています。



ここまでご説明した通り、ポニーベースボールのオリジナリティ溢れるプログラムは、野球を通じた青少年の育成に大きな貢献をしていると自負しております。この後は、日本ポニーベースボール協会における優位性の話題へとバトンをつなぎたいと思います。

Abraham KEY
President and CEO
PONY Baseball & Softball International

ポニーの強み

その②日本独自のアクションプランで青少年を守る！



一般社団法人日本ポニーベースボール協会
理事長 広澤 克実

《略歴》 明治大学
ヤクルトスワローズ (1985-1994)
読売ジャイアンツ (1995-1999)
阪神タイガース (2000-2003)

2018年3月に理事長に就任して以来、一貫して私たちが考え提示してきたのは「青少年がいかに機会均等に野球を楽しめるか」というコンセプトに則ったものです。

ポニーリーグの試合では、発足当時から「リエントリー制度」(先発メンバーは1度交代しても再度出場が可能なため、控え選手の出場機会が増える)や「1リーグで複数チームが公式戦に出場できる制度」があり、ベンチを温めるだけの選手はつukらない、野球は試合に出てこそ学べるもの、という共通理念を大切にしてきました。この「選手が主役」という思想に私自身は深く共感し、理事長就任をお引き受けしたのです。

このような選手本位のルールが整備されている土壌の上に、2020年からは、さらなる画期的なアクションプランをスタートさせました。

SUPER PONY ACTION 2020 概要 (令和元年9月制定)

◇「投手の障害予防」への施策

学年ごとに公式戦での投球数制限を設ける。ただし「制限」というマイナス思考ではなく、限られた球数で打者を抑える技や考え方を磨くというポジティブ思考を植え付ける。(中学1年(60球で変化球禁止!)、2年(75球)、3年(85球))

◇「打撃の原点教育(芯で球を捉える)」

1年生の大会(1年生の夏まで)では木製バットの使用。

◇指導者にも変革を求める

「怒声罵声の指導や応援にイエローカード提示」を導入するほか、「喫煙場所の徹底を確立」するなど、子供たちの心身の健やかな成長を守り健康被害を防ぐ取り組みとする。

ポニーリーグにおける「機会均等」の実践例

～ 東関東ポニーの場合 ～

千葉県に拠点を置く東関東ポニーリーグは、部員が60人を超える大所帯のリーグ。ポニーの「野球は試合に出て学ぶ。機会均等」の理念を実現させるため、常に5種類のユニフォームを持ち、参加する大会に応じて部員の構成を振り分け、全員が出場機会を得られるようにしています。

ある日の練習試合にお邪魔してみました。

(1) この日のスターティングメンバーに入らなかった中村健介君(仮名)は、試合開始から、ベンチで大きな声を出して仲間を応援。ところが、打順がふた回り目となった3回に、7番打者の大川淳君(仮名)のところで代打に指名されます。



(2) 惜しくも三振に倒れてしまいましたが、自分のスイングができたことに納得し「次の試合では上手くミートしよう」と心に決めてベンチに。それでも、試合でしか実感できない自分の課題を見つけることができました。

(3) 代打を送られた大川君ですが、次の4回の守備には再びフィールドへ。「リエントリー制度」によって、先発メンバーは代打を送られても再び試合に復帰できるのです。



采配する監督も、このルールによってベンチのすべての選手を使いやすくなるわけで、「野球は試合に出て学ぶ」というポニーリーグの理念が生かされています。



ポニーリーグの主な取組

《SUPER PONY ACTION》

運動とスポーツを行うことはアクティブなライフスタイルと精神的な安定をもたらし、健康問題を解決する言われています。

ポニーリーグでは、子供達を障害から守り、将来に向けて傷を負い続けることがないように、「SUPER PONY ACTION」(*)を制定しています。

当協会の常務理事CMO(最高医療責任者)で慶友整形外科病院の古島弘三医師の指導のもと、障害予防の取り組みをすべての選手に行っています。

(*) Super PONY Action 2020は、「障害予防と無限の可能性の探求と育成」として「怪我は予防できる」をテーマに、全学年に投球数制限の導入、怒声・罵声にイエローカードの導入等を実施。

日本ポニーベースボール協会は、成長期にある青少年の障害予防に全力で取り組んでいます。
全選手に肩・肘エコー検診を実施し、古傷を持つ選手には改善を促し、新たな故障がないかを専門医が確認します。



日本ポニーベースボール協会は5月1日、「ポニーフェスタ」を開催した。選手の将来の成長を見越した障害予防の一環として、関東連盟に所属するリーグの全選手に対して肩ヒジエコー検診を実施したのをはじめ、協会が推進するスポーツマンシップ運動を実践する場として、「キャッチボールクラシック」やラプソディを用いた「ホームランダービー」、「ベースランニング競争」に各選手がトライする「ポニーリーグ運動会」として開催。その模様をレポートする。

効果的な障害予防に向けた全選手対象の肩ヒジ検診

5月1日、日本ポニーベースボール協会（以下、ポニーリーグ）は千葉県立柏の葉公園野球場で「ポニーフェスタ」を開催した（肩ヒジエコー検診は同公園敷地内のさわやか市民プラザで実施）。

「Protect Our Nation's Youth」（国の宝である青少年の成長を守る）を理念として活動するポニーリーグは、2019年にリリースした「SUPER PONY ACTION PART I」を皮切りに「障害は予防できる」「保護者負担の最大限の軽減」「スポーツSDGsの実践」を積極的に取り進めてきた。これらの施策のさらなる深化を図るべく、関東連盟所属の全登録選手およそ1300人が一堂に会して行われたのが今回のポニーフェスタだ。

部員事務局長によると2020年からの開催を模索していたが、コロナ禍によって開催できず、今回ようやく念願の開催となった。

まず午前中は全選手を対象にして、医師4人、理学療法士8人が立ち合う中で肩ヒジエコー検診を実施した。これが今回の最も重要なイベントだったと、部員事務局長は力を込める。「われわれの理念の中に『障害は予防できる』というものがあつたので、なんとしてでも全選手の肩ヒジ検診をやりたいという思いがありました。この数字は第一歩。このデータをどう改善していくか。現在、定



約1300人の肩ヒジの状態をチェック。来年は最も継続的に実施して、協会が取り組む投球数制限規定の最適化を図っていく

ポニーリーグの主な取組

《機会均等を実現するSUPER PONY ACTION II》

ポニーリーグでは、「社会に有益な人材を輩出するための大いなるチャレンジングマインドの醸成」を実現することを目的として、大会会場内の分煙化の徹底、留学支援システム、就職支援制度を導入しました。

また誰もが野球を続けられるように、「PONYファミリー応援プロジェクト」として、経済的に余裕がない世帯の青少年に、「全国大会の遠征費補助」「グローブ等の野球用品の給付」「給付型奨学金制度」等を導入し、野球が好きな誰もが野球を続けられ、且つ継続的に安心して地域の人や仲間との交流を図れるようにしたものです。

トップ > 野球 > 2020年6月17日

日本ポニーベースボール協会 関係者向け給付金制度を新設、参加旅費など支援

[2020年6月17日 15:28] [コメント](#) [いいね! 25](#) [シェアする](#) [ツイートする](#)



ポニーリーグでプレーする選手たち
Photo By スポニチ

日本ポニーベースボール協会は17日、新型コロナウイルス感染拡大を受け、同協会関係者に向けた「COVID-19 PONYファミリー支援給付金（給付型）」制度を新設したことを発表した。

那須勇元事務総長は「当協会でも、まもなく全国大会の予選が各地で開始されます。安心して、全力でや野球に夢中になってもらえる環境の創出、野球少年の夢にまで新型コロナウイルスの影響が及ぶことを防ぐため、そして子供達の思い出をより良きものとする

ため、協会理念である“青少年の成長を守る活動の一環”として給付金制度を新設いたしました」と制度新設の意図を明かした。

社会に有益な人材を輩出

「直接的就職支援」

「安心して野球に夢中になれる環境を創出し、選手、子どもたちの成長を守り遂げるため、ポニーでは、子どもたちの夢を最大限にフォローアップすべく、育成メソッド卒業ポイントに就職支援を置きます。

- ・ 野球を続けたものの、プロ野球選手になれなかったら
- ・ 将来のことが不安で野球が続けられない...
- ・ 就職を考えると、野球留学等を決断できない...
- ・ 経済的に夢を追いかける時間が限られてしまう...

将来への不安を軽減
＜カウンセリングを重視＞

ポニーが解決
↓
就職支援



sports japan
GATHER
SSKの就職支援サービス
アスカチ

講習会等ではなく、実際に就職先をご紹介します

日本ポニーリーグでは、子供たちの夢を最大限サポートするために、独自の奨学金制度を新設しました。野球の本場、アメリカでMLBや独立リーグに挑戦したい選手を支援する「夢 果てるまで 給付型奨学金」（毎年2名まで、年間60万円/人を給付）、国内の独立リーグやクラブチームからNPB入りを目指す選手を支援する「目指せ NPB 給付型奨学金」（毎年2名まで、年間60万円/人を給付）、ポニーリーグが持つ世界のネットワークを活用した海外留学プランを実現する「韓俊 グローバル人材育成 給付型奨学金」（毎年2名まで、年間60万円/人を給付）を導入し、総額360万円の給付型奨学金でサポートしています。

ポニーリーグが年間総額360万円の奨学金制度を新設「子どもたちの夢を支援したい」

少年野球 2020.12.01



独自の取り組み「SUPER PONY ACTION～PART II～」を発表

ポニーリーグがまた、子どもたちの未来を考え新たな一歩を踏み出した。一般社団法人日本ポニーベースボール協会（ポニーリーグ）は1日、都内で記者会見を行い、昨年反響を呼んだ「SUPER PONY ACTION～PART I～」に続く、「SUPER PONY ACTION～PART II～」を発表した。

ポニーリーグの指導理念

日本ポニーベースボール協会に所属する指導者は、協会の「指導理念」を共有しています。

ポニーでは、一人ひとりの価値観の違いを否定するのではなく、多様性をお互いに受け入れ合うことを推奨しています。

指導理念

我々日本ポニーベースボール協会に所属する指導者は野球を通じて、選手たちを心身共に鍛錬し、「社会に有益な未来の人材を育成する」という、崇高なる世界共有のポニーベースボールの指導理念を礎として使命感を常に胸に刻み活動することを誓う。

日本ポニーベースボール協会が掲げる理念を浸透させるべく、選手諸君とともに国内はもとより国際少年野球界に於ける立ち位置を更に向上せしめることを誓う。

指導者自身が「生涯学習」の必要性を理解・実践し、選手をはじめ保護者・学校・社会からいささかも非難されることのないよう、ここに示す指導理念10カ条に則り精進を重ねることを誓う。

最後に、当協会の全ての構成員は、指導理念10カ条を十分に理解するとともに「知行同一」の精神のもと、広く社会に見えるよう、選手諸君の良識として心に刻まれるよう行動・実践することを誓う。

ポニーリーグの指導理念10か条

1. ポニーの指導者は代償を求めてはならない。

我々は清廉潔白な青少年と向き合う立場にあることから、外部はもとより内部からも代償を求めてはならない。なぜならば、代償のあるところに必ず醜い人間関係や争いが発生するからである。

2. ポニーの指導者は暴言・暴力・ハラスメントを排斥する。

選手を指導するに当たり、暴力を行使したり怒声・罵声・暴言を吐いてはならない。暴力のあるところに必ず反発がある。暴力は、我々の理念である「少年少女の成長を見守る」を達成するための手段として、些かも有益とはならない。真の指導は、1人1人心を持った選手諸君との「心と心の触れ合い」である。

3. 手段と目的を混同してはならない。

勝敗を争うことは手段であり目的ではない。勝敗を競うファイトの中に技術、精神の鍛錬と成功があり、そこから学びえたものが少年期の人格形成の糧となって、やがて社会に貢献する人材に成長する。ここに協会の存在意義があることを厳粛に受け止めるべきである。

4. ポニーの主役は少年たちである。

日本ポニーベースボール協会の主役は選手諸君であり、大人ではない。したがって全ての成人構成員は、選手たちが野球をする環境を整え、常に背後から寄り添い、温かく見守り、時に必要とあらばサポートすることが大人の務めであり責務である。

5. 大人のエゴイズムで少年たちを傷つけてはならない。

我々の活動は、地域の子供さんを預かり「地域社会、国家のために役立つ青少年を育成する大事業である」という認識を常に心に刻み、いささかも指導者同士の争いを寸分も垣間見せてはならない。人格形成の上で最も大切な少年期後半に大人のエゴを見せつけては、我々は何のために存在しているのか。我々は、協会に集う選手一人ひとりの保護者の如く青少年の成長を守る団体であることを忘れてはならない。

6. ポニーはグラウンドでも会合でも「機会均等主義」である。

会合等において他人の発言を封じ、自己の主張のみを通そうとする指導者は「破壊者」であり、人・組織の成長を妨げるものである。組織運営に当たっては、全ての者が常識のある発言をし、理事長をはじめ上級の責任者は、日本ポニーベースボール協会の永遠の発展と選手個々人の健やかな成長を願い、良識ある結論を出さなくてはならない。いかなる者の発言といえども平等な権利を有するものであり、機会は均等に与えられるべきものである。未来の指導者育成に於いても、「機会均等主義」を貫くべきである。

7. 選手の指導をととして指導者自身が成長すべきである。

指導者は選手を指導することが肝要であるが、その過程で自らを教育・律する「生涯学習」を実践し、自らを成長させることに無上の喜びを感じ、自らを磨く不断の努力を実践しなければならない。指導者は支配者ではない。指導者とは、「生涯学習」の精神の下、自身の不断の努力と選手諸君・保護者・学校・地域との十分な連携とコミュニケーションにより「青少年を最適な成長軌道に導く者」である。

8. 選手は自分の所有物ではない。

選手は保護者から、学校、地域からお預かりした大切な宝物である。指導者は自己の権力、欲望のために野球技術を教えるものではない。逆に、「子供達と一緒にプレーをし、共に成長を夢見て、童心にかえり共に歓喜する」心を持つべきである。

9. 常に感謝の心で会の運営に当たろう。

自分以外、例えば他のチームに対しても感謝の気持ちがなければならない。「対戦相手があってこそこの試合」の原理原則を考えれば当然のことである。そこに行って試合をすれば良いというものではない。球場の整備、保護者の支援、地域の理解等、どれをとっても様々な方々の理解と支援を拝受するものである。常に考えを相手の立場においたならば「感謝せずにいられない」ことは火を見るより明らかである。

10. 協力者があってこそ会の運営が可能である。

我々だけではこの協会の運営は不可能である。国内をはじめ広く世界の理解ある協力者があってこそ選手諸君のための協会事業活動が可能である。「我々のやっていることは良いことをしているのだから…」と独善的な考えにより協力者に対し不遜な態度で接すれば、協会の存在意義が問われる。今後共あらゆる協力者が、より一層団結し、選手の成長を守る活動の質・量両面からの充実が図れるよう、全ての協会関係者は、全ての協力者を尊重し・感謝する行動を取らなければならない。

日本におけるポニーリーグの管理監督体制

ポニーリーグの指導理念と方針が統制され遵守されることを確認していくために、日本ポニーベースボール協会は組織として適切に管理監督できる体制を整えています。

《一般社団法人日本ポニーベースボール協会 組織図》



ポニーリーグの代表的な大会

《PONYワールドシリーズ》

ポニーリーグワールドシリーズは1952年から実施されているポニーリーグにとって最も代表的かつ最高峰の大会です。毎年アメリカで開催されています。各学年ごとのカテゴリー別に世界各8地域で勝ち抜いたチームがアメリカに集結して対戦します。



ポニーリーグの代表的な大会

《PONYアジアパシフィックゾーンチャンピオンシップトーナメント》

日本はアジア太平洋地域の主要参加国として、毎年アジアパシフィックチャンピオンシップトーナメントに参加します。この大会は、アジア地域各国の代表チームと対戦し、勝ち抜いたチームがアジア太平洋地域を代表してアメリカのワールドシリーズに臨みます。

2023 Asia-Pacific Zone Championship Tournament



目指せ！ワールドシリーズ！いざ世界へ！



PONY
PALOMINO ▶ 6/19(月) ~ 6/23(金) in Chiba
COLT ▶ 6/26(月) ~ 6/30(金) in Fukushima





JAPAN PONY BASEBALL

Protect Our Nation's Youth

- 主催：一般社団法人日本ポニーベースボール協会
- 後援：
 - スポーツ庁、東京都江戸川区、読売新聞社、株式会社日本スポーツ新聞社、株式会社スポーツニッポン新聞社、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会
 - 一般社団法人日本スポーツ経団連、一般社団法人日本スポーツツインメント、一般社団法人スポーツメディカルコンプライアンス協会
 - 一般社団法人日本プロ野球選手会、公益財団法人日本野球連盟、一般社団法人日本プロ野球外国人OB選手会、Full Court、クレシェンド、株式会社康希エージェンシー
 - 公益財団法人東京臨海副都心財団、公益財団法人野球殿堂博物館、ポニーインターナショナルinc.
- 協賛：
 - 株式会社大倉、株式会社マルハン、広島県スポーツ文化産業振興会、株式会社ECC、キリンビバレッジ株式会社、株式会社エスエスエー
 - 日本航空株式会社、HAWK合同会社、SSO株式会社、株式会社コントリビュート、京葉水グループ、株式会社SSKリレーションズ、ミズノ株式会社、株式会社ドーム
 - 一般社団法人日本プロ野球選手会、株式会社ベースボール、マガジン社、株式会社ジャパンゼネラルスポーツ、富士製菓株式会社、アスリートブランドジャパン株式会社
 - 株式会社Ragazzo Japan、ゼット株式会社、株式会社オンサイドワールド、株式会社GATHER、株式会社エス、プランナー、株式会社アサント、アミアスポーツジャパン株式会社
 - 株式会社ハイゴルド、アシックスジャパン株式会社、株式会社フィールドフォース、株式会社イーストライン、株式会社グローバルボーダーズ、医療法人社連慶友会
 - 株式会社新井商店、株式会社ネクストベース、島本モウのん株式会社、株式会社PXA、美津和タイガー株式会社、ベースボール北海道、ベースボールマーケット
 - 松和物産株式会社、株式会社ドームメディカル、ライブリック株式会社

ポニーリーグの代表的な大会

《全日本選手権大会》

日本国内においては、日本一を決める全日本選手権大会が毎年開催されます。主会場は、日本ポニーベースボール協会の聖地でもある江戸川区の江戸川区球場で毎年夏に全国の予選を勝ち抜いた強豪が集結し熱い対戦が繰り広げられます。




JAPAN PONY BASEBALL *Protect Our Nation's Youth*

- 主催：一般社団法人日本ポニーベースボール協会
- 後援：スポーツ庁・東京都江戸川区・読売新聞社・株式会社日刊スポーツ新聞社・株式会社スポーツニッポン新聞社・一般社団法人日本スポーツマンシップ協会
一般社団法人日本スポーツ推進機構・一般社団法人日本スポーツエンターテインメント・一般社団法人スポーツメディカルコンプライアンス協会
一般社団法人日本プロ野球選手会・公益財団法人日本野球連盟・一般社団法人日本プロ野球外国人選手会・Full Count・クレシェンド・株式会社東急エージェンシー
公益財団法人京葉緑地記念財団・公益財団法人野球殿堂博物館・ポニーインターナショナルInc.
- 協賛：株式会社大倉・株式会社マルハン・広東国際スポーツ文化産業有限公司・株式会社ECC・キリンビバレッジ株式会社・株式会社エスエスケイ
日本航空株式会社・HANK合同会社・BSO株式会社・株式会社コントリビュート・京葉館グループ・株式会社SSKリレーションズ・ミズノ株式会社・株式会社ドーム
株式会社ヨコブシ・Foseki株式会社・株式会社ベースボール・マガジン社・株式会社ジャパンゼネラルスポーツ・富士製薬株式会社・アスリートブランドジャパン株式会社
株式会社Rapsodo Japan・ゼット株式会社・株式会社オンサイドワールド・株式会社GATHER・株式会社エス・プランナー・株式会社デサント・アメアスポーツジャパン株式会社
株式会社ハイゴールド・アシックスジャパン株式会社・株式会社フィールドフォース・株式会社イーストライン・株式会社グローバルポーターズ・医療法人社団慶友会
株式会社創井商店・株式会社ネクストベース・島手そうめん販売株式会社・株式会社FHA・英津和タイガー株式会社・ベースボール北海道・ベースボールマーケット
松和物産株式会社・株式会社ドームメディカル・ライブリック株式会社



株式会社大倉



ポニーリーグの代表的な大会

《日米親善試合》

ポニーリーグのオフィシャルな大会とは別に、どの選手にも国際舞台を経験する機会を与えようと創設された日米親善大会も毎年開催されています。開催地はアメリカと日本で2年毎に交互で行っています。



ポニーリーグの代表的な大会

《女子野球大会を開始》

これまでポニーリーグでは、女子は男子チームに加わってチームを形成してきましたが、2023年度より本格的に女子野球に特化したPONY Girls Baseball World Seriesを開催します。2023年は日本が主催国となり、全世界から女子野球チームを迎えます。これを皮切りに女子にも機会均等の精神で国際大会という舞台を提供して参ります。




ECC インビテーション SSK カップ PONY Girl's Baseball World Series 2023





開催地 ▶ 栃木県小山市・栃木市 2023年7月31日(月)～8月4日(金)


JAPAN PONY BASEBALL *Protect Our Nation's Youth*

■ 主催：一般社団法人日本ポニーベースボール協会

■ 後援：スポーツ庁・東京都江戸川区・読売新聞社・株式会社日刊スポーツ新聞社・株式会社スポーツニッポン新聞社・一般社団法人日本スポーツマンシップ協会
一般社団法人日本スポーツ推進機構・一般社団法人日本スポーツエンターテインメント・一般社団法人スポーツメディカルコンプライアンス協会
一般社団法人日本プロ野球選手会・公益財団法人日本野球連盟・一般社団法人日本プロ野球外国人OB選手会・Full Count・クレーシェンド・株式会社東急エージェンシー
公益財団法人京葉緑地記念財団・公益財団法人野球殿堂博物館・ポニーインターナショナルinc.

■ 協賛：株式会社ニエスエー・株式会社ECC・株式会社大倉・株式会社マルハン・広島地産スポーツ文化産業振興株式会社・株式会社日本銀行・キリンビバレッジ株式会社
日本航空株式会社・MANX合同会社・ASO株式会社・株式会社コントリビュート・京葉緑地グループ・株式会社SSKリレーションズ・ミスノ株式会社・株式会社ドーム
株式会社ニコポリス・FOURMAN株式会社・株式会社ベースボール・マガジン社・株式会社ジャパンゼネラルスポーツ・富士製薬株式会社・アスリートブランドジャパン株式会社
株式会社Rasoodo Japan・ゼット株式会社・株式会社オンサイドワール・株式会社gamita・株式会社エス・プランナー・株式会社子ラント・アメアスポーツジャパン株式会社
株式会社ハイゴルド・アシックスジャパン株式会社・株式会社フィールドフォース・株式会社イーストライン・株式会社グローバルポーターズ・医療法人社団慶友会
株式会社新井商店・株式会社全ストベース・星野あさひん販売株式会社・株式会社白K・東海和タイガー株式会社・ベースボール北海道・ベースボールマーケット
松和物産株式会社・株式会社ドームメディカル・ウィアアップ株式会社


株式会社 大倉


MARUHAN
人生にきりこび


panda sport


KIRIN
キリンビバレッジ

さあ！ともに汗を流そう！ ポニーリーグ 年間スケジュール早見表

《主な年間大会スケジュール》

		開催場所
2月	協賛会社報告会	東京
	関東連盟春季大会	柏の葉
3月	エスプランナーカップ 全日本選抜中学野球選手権大会	沖縄
4月	女子日本代表選考会	
5月	広澤克実杯全日本地域対抗選手権 兼 日本代表選手選考会	佐賀
	ベースボールクリニックカップ 関東連盟一年生大会	関東
6月	U-18 Palomino Asia Pacific Zone Championship Tournament	千葉
	U-14 PONY Asia Pacific Zone Championship Tournament	千葉
	U-16 COLT Asia Pacific Zone Championship Tournament	福島
7月	大倉カップ 北日本選手権大会	宮城
	マルハングループインビテーション 大倉カップ第49回全日本選手権大会	江戸
	Colt World Series	米国
	Palomino World Series	米国
	Bronco World Series	米国
	ECCインビテーション SSKカップ PONY Girls Baseball World Series	栃木
8月	大倉グループ協賛 日米親善交流大会	米国
	PONY World Series	米国
	大倉カップ 西日本大会	九州
	第15回全日本中学野球選手権大会（Gカップ）	東京
	マルハンカップ 北海道・北東北大会	北海道
9月	マルハンカップ 北日本国際親善トーナメント	秋田
11月	マルハンカップ 東日本コルト選手権大会	関東

加盟手続きについて

加盟手続きの流れをご説明します。

- ① 新規加盟希望の連絡
- ② 【新規加盟申請書】の提出
- ③ 倫理審査委員会での審査
- ④ 加盟決定通知

加盟が決定されましたら、本部事務局より電子メールにて正式加盟に関する御案内が送信されます。

加盟時に必要な費用

新規入会金	0円	(加盟初年度のみ)
加盟金	30,000円	(毎年1リーグにつき)
米国本部登録金	10,000円	(毎年1チームにつき)
選手登録金	7,000円 (関東地区は10,000円)	(毎年選手1名につき)

上記に該当する金額の合計を指定銀行口座へ振込いただき、加盟手続きが完了いたします。

日本におけるポニーリーグのパートナー

ポニーリーグは、その理念に賛同してくださっている協賛会社様の協力のもと活動や支援が行えています。

THE UNIQUE HR DEVELOPMENT METHOD OF PONY
PONY独自の人材育成メソッド



■ 後援:

読売新聞社
株式会社日刊スポーツ新聞社
株式会社スポーツニッポン新聞社
公益財団法人日本野球連盟
公益財団法人京葉鈴木記念財団
公益財団法人野球殿堂博物館
一般社団法人日本スポーツマンシップ協会
一般社団法人日本スポーツ推進機構
一般社団法人日本スポーツエンターテインメント
一般社団法人スポーツメディカルコンプライアンス協会
一般社団法人日本プロ野球選手会
一般社団法人日本プロ野球外国人OB選手会
クレシェンド
株式会社東急エージェンシー
株式会社NTTデータ
株式会社WoodStock(高校野球ドットコム)
ポニーインターナショナルInc.

■ 協賛企業:

株式会社大倉
株式会社マルハン
広東熊猫スポーツ文化産業有限公司
株式会社ECC
麒麟ビバレッジ株式会社
株式会社エスプランナー
日本航空株式会社
HANX合同会社
株式会社エイジェック
株式会社エスエスケイ
BSO株式会社
株式会社コントリビュート
京葉鈴木グループ
ミズノ株式会社
株式会社ドーム
株式会社ヨコブリシ
FoseKift株式会社
株式会社ベースボール・マガジン
株式会社ジャパンゼネラルスポーツ
富士製旗株式会社
アスリートブランドジャパン株式会社
株式会社Rapsodo Japan
松和物産株式会社
東京堂印刷株式会社

ゼット株式会社
株式会社オンサイドワールド
株式会社GATHER
株式会社エス・プランナー
株式会社デサント
アメアスポーツジャパン株式会社
株式会社ハイゴールド
アシックスジャパン株式会社
株式会社フィールドフォース
株式会社イーストライン
グローバルポーターズ株式会社
医療法人社団慶友会
株式会社新井商店
株式会社ネクストベース
島手そうめん販売株式会社
株式会社FEA
美津和タイガー株式会社
ベースボール北海道
ベースボールマーケット
松和物産株式会社
株式会社ドームメディカル
ライブリッツ株式会社
ふるや野球企画

ポニーリーグ連絡先



一般社団法人日本ポニーベースボール協会
東京都江戸川区船堀4-8-19
京葉鈴木ループビル4階
電話：03-6663-9800
FAX：03-6663-9801
メール：info@pony-japan.com
URL：<https://pony-japan.com>



PONY Baseball and Softball's
International Headquarters
located at 1951 PONY Palace,
Washington, Pennsylvania
Tel: 1-724-225-1060 (Phone)
<http://PONY.org> (website)



Come join us !
